

「すみっこまち」  
大隅を全国に発信



9月27日、ホテルさつき苑(西原1丁目)で「すみっこまち認定証」の授与式が行われました。これは、今年10周年を迎える「すみっこぐらし」が自治体等と連携した企画「すみっこまちコラボ」の一環として行ったもので、サンエックス(株)と(株)おおすみ観光未来会議が共同で実施。今後は、大隅半島のすみっこまちPR大使となった「しろくま」によって、全国へ大隅半島の魅力が発信されます。

だいわ鹿屋店が  
惜しまれつつ閉店



9月25日、プラッセだいわ鹿屋店が閉店し、31年の歴史に幕を閉じました。平成3年12月に開業した同店は、大隅半島最大の商業施設として食料品や生活用品などをそろえ、また展示や発表の場としても活用されるなど、長年多くの市民から愛されてきました。最終日には思い出にと多くの買い物客が訪れ、閉店を惜しみながら最後の買い物をする人々にぎわいました。

多業種で構成される  
団体からの寄贈

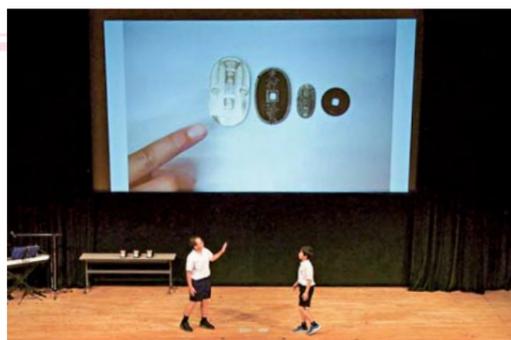


9月21日、鹿屋二火会から本庁駐車場にポール時計と市体育館に掛け時計の、鹿屋七日会から非接触体温検知器の寄贈式が行われました。これは、二火会が昨年60周年、七日会が今年45周年をそれぞれ迎えるにあたり地域貢献活動の一環として行われたもの。二火会代表幹事であり七日会相談役の金沢幸一氏は「これからも両会は鹿屋を盛り上げるために一生懸命頑張っていきたい」と話しました。



かのやのホットな話題をお届け!

英語弁論大会で  
想いを表現



9月30日、リナシティかのやで「令和4年度鹿屋市小・中学校英語弁論大会」が開催されました。市内の小学生46人、中学生24人が参加し、英語でのスピーチを披露。従来の英語弁論部門・トピックススピーチ部門に加え、今大会では2人1組で劇を行う「スキット部門」が新設され、発表者は文章の組み立て方や身振りや表情などに様々な工夫を凝らして発表していました。

地域のために  
走れリックル号



9月30日、中央消防署で高規格救急自動車受納式が行われました。地域の医療と住民への支援等のためにと株式会社カナザワからの寄附により、高規格救急自動車の導入が実現。受納式では消防音楽隊の演奏や救急シミュレーション訓練が行われました。同社のマスコットキャラクターから命名された救急車「リックル号」は、同日から鹿屋のまちを走り地域医療に貢献しています。

大隅の魅力が  
楽しめるイベント



9月25日、どっ菜市場(笠之原町)で「おおすみを楽しんDAY!!」が開催されました。これは、地域の飲食店や観光案内などを通して大隅の魅力を知ってもらおうと公益社団法人鹿屋青年会議所が主催したもの。当日は大隅半島の飲食店18店による出店やゆるキャラが集合。ステージでは各地区PRタイムやクイズ大会などが行われ、晴天のもと多くの人たちでにぎわいました。

リユース品を回収  
ごみ減量を検証



9月23日、市役所裏の駐車場でごみ減量に向けた不用品の試験回収を行いました。これは、不用品の再利用によるごみ減量の効果を検証しようと、リサイクル・リユース業者の「ecommit」と連携して実施したもの。今後は、持ち込まれた雑貨や食器類などから再利用できた物品の割合を検証するなどして、ゼロカーボンシティの実現に向けた施策に反映させる予定です。



スポーツ吹矢大会で  
個人・団体優勝の快挙

9月27日、スポーツ吹矢振興協会鹿屋中央支部の関係者が市役所を訪れました。同支部は、昨年度開催された「スポーツ吹矢オンライン大会2021」において、個人戦8・10m、団体戦10mで優勝するなど輝かしい成績を収めました。



川東町八月口説踊  
音頭高らかに

9月23日、「川東町八月口説踊」が行われました。これは、川東町八月口説踊保存会によって踊られる市の指定無形民俗文化財。午前中に和田井堰公園で水神奉納を行い、午後から町内の水神や田の神を巡りながら踊りを披露しました。



王子町伝統の舞  
鉦・笛・太鼓の音が響く

9月23日、和田井堰公園で「王子町鉦踊り」が行われました。王子町鉦踊りは令和2年に県の無形民俗文化財に指定。コロナ禍の影響を考慮して町内巡行はありませんでしたが、王子町鉦踊り保存会による伝統の舞が奉納されました。



ごみ拾いボランティア  
で綺麗なまちへ

9月22日、平和公園で宅建協会大隅支部によるごみ拾いボランティア活動が行われました。これは9月23日の「不動産の日」に合わせて毎年行われている取り組みで、今年で21年目。当日は25人で16袋分のごみを収集しました。



認知症に関係ある  
人同士の交流を広げる

9月22日、市役所1階ロビーで「オレンジカフェ」が行われました。これは認知症の人やその家族、関心のある人などが気軽に集える場として開催しているイベント。参加者は補助器具などの紹介を聞き、認知症への理解を深めました。



高須金浜海岸上陸の記憶  
を風化させないために

9月11日、高須町民会館で「進駐軍高須上陸を語り継ぐ会」が行われました。同会は、終戦直後の昭和20年9月4日に連合軍が高須町の金浜海岸へ上陸した当時のことを語る勉強会で、参加者は体験者の記憶を共有しました。